

子ども・文教委員会委員長報告

子ども・文教委員会における審査の経過並びに結果について
ご報告申し上げます。

本委員会に付託されました案件は、甲第177号議案 令和
7年度岡山市一般会計補正予算（第4号）について、以下12
件の議案についてであります。

これらの議案審査に当たりましては、当局の説明を聴取し、
慎重に審査いたしました結果、甲第191号議案 岡山市立学
校給食センター条例の一部を改正する条例の制定について、以
下5件の議案は、一部の委員から反対があり賛成多数で、その
ほかの議案については、全会一致で原案のとおり可決並びに同
意すべきものと決定いたしました。

それでは、審査の過程において 特に議論となりました点につ
いてご報告いたします。

まず、甲第191号議案 岡山市立学校給食センター条例の一
部を改正する条例の制定について であります。

これは、岡山市立建部学校給食センターを廃止し、岡山市立
御津学校給食センターから建部地区の小中学校に学校給食の配
送を行うため、名称を削除し、条例を改正するものであります。

委員から、建部学校給食センターを廃止し、御津学校給食セ

ンターに統合するということで、スケールメリットはあるものの、新しい体制になる中で、配送を含む人員体制、地元雇用、調理場の問題等々、現場が困らないよう対応してほしいが、どう考えるかとの質問があり、当局から、実際に動かしていく中で、いろいろなことが想定される。給食は、提供するだけでいいわけではなく、食育等への影響もある。また、我々よりも、実際に現場を動かしている方々のほうが、実感している思いは強い。現場の意見をしっかり聞きながら、体制を含め、いろいろなことを検討していきたい、との答弁がありました。

次に、甲第200号、甲第202号、甲第203号議案
指定管理者の指定についてです。

これらは、岡山市日応寺自然の森、岡山市立少年自然の家、西川アイプラザ、岡山市立中央図書館についての、指定管理者を選定するものです。

委員から、応募者が1社のみで、どこの案件もその傾向が強まっている。他社が参入するモチベーションが生まれにくい仕組みになっているのではないかと。より良いものにしていくために、全庁的に指定管理者制度の在り方について、整理、議論する必要があるのではないかと思います。局内で整理したうえで関係部局に伝え、全庁的な議論を促していただきたい、との意見があり、当局から、関係部局とも協議しながら、在り方について考えていきたい、との答弁がありました。

以上、ご報告いたしました。このほかにも審査の過程でさまざまな意見や要望が出されました。

当局におかれましては、本委員会が出された意見や要望に十分留意され、事務事業の執行に当たられますよう申し添え、子ども・文教委員会の報告を終わらせていただきます。